

マルク・シャガール

「色彩の魔術師」と称えられ、
豊麗な色、空中を浮遊する超現実的幻想的な詩情で独自の世界を展開
銅板、リトグラフによる多数の挿画本、版画を制作
世界画壇の最高峰として現在も人気が高い

- 1887年 7月7日ヴィテブスク(現ベラルーシ)生まれ、両親はユダヤ人
- 1907年 ペテルスブルク美術学校で学ぶ
- 1910年 以後パリに5年間滞在
モジリアーニ、ドローネなどの画家と知り合い、アンデパンダン展に出品
- 1914年 ベルリンで初個展
初期作品は印象派風だったが、ピカソを知り立体派に感化される
- 1915年 最初の妻、ベラ・ローゼンフェルトと結婚
- 1917年 革命後の故郷で美術人民委員に選ばれたが、マーレヴィッチとの不和でパリに戻る
やがて、明るさと思索性、神秘性をあわせたシュールレアリスム作風を確立
- 1922年 ベルリンにて版画家ヘルマン・シュトックを知り、銅版画技法を習得
同年最初の銅版画「わが生涯」を出版者カッシーラーの依頼で制作
- 1923年 パリに戻り、ヴォラールの依頼によりゴーゴリーの「死せる魂」及び
ラ・フォンテーヌの「寓話」の銅版画を制作
- 1931年 ヴォラールの依頼で壮大な主題「バイブル」に取り組むためパレスチナへ旅行
- 1939年 カーネギー賞受賞
- 1941年 アメリカへ亡命
- 1944年 ベラが病没
- 1945年 ニューヨーク近代美術館及びシカゴ・アート・インスティテュートで回顧展開催
- 1947年 フランスへ戻る。(1950年にフランス国籍取得)
- 1948年 カラー石版画「アラビアンナイト」発表、ヴェニス第25回ビエンナーレ版画賞受賞
- 1952年 ヴァランティーヌ・ブロツキーと再婚
- 1954年 ギリシャへ旅行し、カラー石版画「ダフニスとクロエ」の作成開始
- 1956年 サークスをテーマにリトグラフを制作、銅版画「バイブル」を発表
- 1958年 「デッサンバイブル」カラー石版画25点制作(60年発表)
- 1960年 エラスムス賞を受賞、パリ・オペラ座の天井画制作(1964年完成)
- 1965年 カラー石版画「エクソダス」制作
- 1966年 17点の連作「聖書のメッセージ」をフランス国家に寄贈
- 1967年 生誕80周年を記念チューリッヒ、ケルンで大回顧展開催
ルーブル美術館で「聖書の使命」展開く
- 1973年 86歳の誕生日にニース市に国立マルク・シャガール美術館(現在名)が開館
- 1976年 東京国立近代美術館で個展を開く
- 1977年 フランス政府からレジョン・ドヌール最高勲章を受ける
ルーヴル美術館で大統領の出席を得てシャガール展が開催
- 1985年 3月28日、ニースに近いサン＝ポール＝ド＝ヴァンスの墓地に眠る